

平泉文化セミナー 第 38 回例会

平泉文化研究センターでは、東アジアにおける総合的「平泉学」の構築を図るための一環として、平泉文化セミナーを定期的に関催しております。

今回は、第 38 回例会として下記により開催しますので、ふるってご参加ください。参加費は無料です。

中尊寺供養願文写本の基礎的研究

—書の視点から—

岩手大学平泉文化研究センター
教授

劉 海宇氏

中尊寺供養願文には、藤原輔方によって書写された端書と奥書のある「輔方端書奥書本」と、北畠顕家筆の「顕家本」の 2 本の写本が中尊寺に伝存する。この願文は、平泉文化研究の基本的な史料であり、これまで幾多の解説文及び先学による論考等がある。本研究は、臨書を通して得た成果を基礎にし、書の視点からこれまでの解説文におけるいくつかの誤読字を指摘しつつ、また 2 巻の写本における問題点及び相違点を検討する。

平成 30 年 2 月 27 日(火) 17:00~18:30
岩手大学教育学部 1 号館 2 階 E21 講義室

【本件に関する問い合わせ先】 岩手大学平泉文化研究センター事務局
〒020-8550 盛岡市上田三丁目 18-33 019-621-6529 E-mail ryukaiu@iwate-u.ac.jp